

第21回 健康管理コーチングセミナー

[日時] 2013.2.17 (日) 15:00~20:00 (14:30開場)

[会場] ホテル阪急インターナショナル 6階 瑞鳥の間

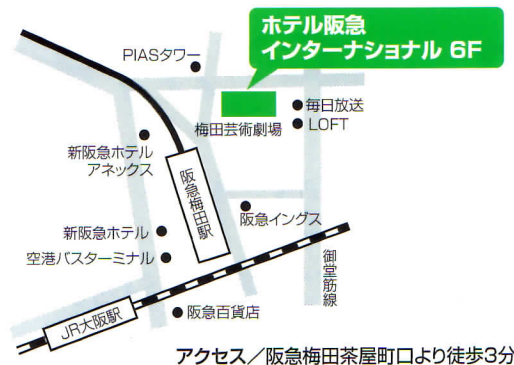
大阪市北区天下茶屋町19番19号

Tel. 06-6377-2100

[会費] 10,000円 (講演会・祝賀会)

[定員] 100名

主催:人間の森 協賛:大阪思風塾



人間において生きるとは、ただ単に生き永らえる事ではない。人間において生きるとは、何のためにこの命を使うか、この命をどう生かすかということである。命を生かすとは、何かに命をかけるということである。だから生きるとは命をかけるという事だ。命の最高のよろこびは、命をかけても惜しくない程の対象と出会うことにある。その時こそ、命は最も充実した生のよろこびを味わい、激しくも美しく燃え上がるのである。君は何に命をかけるか。君は何のためになら死ぬことができるか。この問いに答えることが、生きるということであり、この問いに答えることが、人生である。



芳村 思風 (ヨシムラシフウ)

哲学者。感性論哲学の創始者。日本哲学会会員。名城大学講師。東海ホリスティック医学振興会顧問。昭和17年、奈良県生まれ。学習院大学大学院博士課程を中退して「思風庵哲学研究所」を設立する。感性が生命の本質であり、人間の本質であり、宇宙の究極的実在であるとする<感性を原理とした哲学>を世界で初めて体系化。現在、各地で、感性論哲学を学ぶ「思風塾」が開催され、感性論哲学を学ぶ人の熱気であふれている。塾生は、経営者をはじめ、サラリーマンやOLだけでなく、主婦や学生とさまざまな年齢・職種の人が学んでいる。

土橋 重隆 (ツチハシシゲタカ)



外科医、医学博士。1952年、和歌山県生まれ。'78年和歌山県立医科大学卒業。'81年、西日本で最初の食道静脈瘤内視鏡的栓塞療法を手がけ、その後、2000例以上の食道静脈瘤症例に内視鏡的治療を施行する。'91年、和歌山県で最初の腹腔鏡下胆嚢摘出手術を施行、その後8年間に750例以上の腹腔鏡下手術を行う。2000年、帯津三敬病院にて終末期医療を経験、現在は三多摩医療生協・国分寺診療所で外来診療を行っている。ガンや生活習慣病には「治療の主役は医者ではなく、患者さん」と説き、全国各地で講演活動を展開中。

西洋医学、代替療法含め、病気治しの方法論が問題だとはそもそも思っていないんです。こうした方法論よりも「患者さん自身が病気をどうとらえるのか」ということが大事なんです。病気になった自分自身に目を向けて、これまでの生き方のどこに原因があったのか、これからどうなりたいのか、そうしたアプローチがまずは必要になってきます。いままでの自分の生き方、考え方を見直すという段階をしっかりと踏んだうえで、次にいまあるいろんな治療法のどれを選べばいいかを検討していく。生き方の見直しができるかどうか、じつは治療の結果を大きく左右するんです。

《健康管理コーチングセミナーの魅力》

- 1、健康を自分で管理していける知恵と実践力が身につく
- 2、自分の人生で本当に大切なことは何かがわかる
- 3、現代医療のウソ、ホントが明らかになる

2013.2.17健康管理コーチングセミナー 参加申込書

FAX:072-870-8220 TEL:090-3351-4374

mail: kawahito@ningen-no-mori.com

■お申込先・お問い合わせ先



人間の森 (担当: 川人)

〒574-0022 大阪府大東市平野屋2丁目8番13号

セミナー / 参加・不参加 ※いずれかに○をおつけください		申込締切/1月31日(木)までにお申し込み下さい	
ふりがな		ふりがな	
お名前		ご同伴者	
ご住所	〒		
お電話		FAX	
携帯番号		E-mail	